

濡れ

浴室の床に水が着きすぐには流れ落ちないときがある。これは水と床材質との親和性が良いことによる。すなわち、水分子が吸着し易い箇所(サイト)があるということである。このように液体分子が吸着し易く脱着しにくい表面を濡れ性が良い表面という。濡れ性の程度を簡単に知る方法として水滴を滴下してその形態を観察する方法がある。水が板表面で球状(玉ころ)になる場合を濡れが悪く、反対に表面に広く展がり厚みも観察されない場合を濡れが良いという。一般にはこの中間の半球状の小山になる。小山の高さが小さいほど(水滴量が一定のとき)や小山の稜線が板とのなす角度(接触角という)が小さいほど濡れが良いと判断される。

松村英夫